

衛研第3 - 13号
平成28年 6月29日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 25 週（平成 28 年 6 月 20 日～平成 28 年 6 月 26 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 5 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、急性脳炎 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 7 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**咽頭結膜熱**(0.99 0.92：図 1)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まったが、依然多い状況にあり、今しばらく注意が必要である。保健所別では全保健所管内から報告があり、春日部(2.50 1.83)、狭山(2.24 1.82)、草加(1.73 1.45)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、1 歳の報告が最も多い。**流行性耳下腺炎**(1.62 1.44：図 2)の定点当たり報告数は前週と同水準で、前年までの同時期と比べ多い状況が続いている。保健所別では秩父保健所を除く 15 保健所管内から報告があり、坂戸(1.17 2.50)保健所管内で大きく増加し、幸手(4.56 3.56)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3～8 歳で全体の 76.4%を占めている。**ヘルパンギーナ**(0.48 0.97：図 3)の定点当たり報告数は、第 22 週以降増加が続いている。保健所別では、草加(2.45 5.45)保健所管内で大きく増加した。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.65：図 4)の定点当たり報告数は前週と同値であった。保健所別では全保健所管内から報告があり、鴻巣(5.75)、川口(5.31)、朝霞(5.25)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 61.1%を占めている。**手足口病**(0.23 0.38)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、草加(0.36 1.18)保健所管内で大きく増加した。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 28 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 2 人、**マイコプラズマ肺炎** 5 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 1 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	1 人（病原体 <i>S. flexneri</i> ）
	腸管出血性大腸菌感染症	5 人（類型 患者 2 人、無症状病原体保有者 3 人、血清型 O157 3 人、O26 1 人、O121 1 人）
四類感染症	レジオネラ症	2 人（病型 肺炎型 2 人）
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>E. coli</i> 1 人）
	急性脳炎	1 人（病型 ヒトヘルペスウイルス 6）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	7 人（病型 早期顕症 期 2 人、早期顕症 期 4 人、無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 咽頭結膜熱

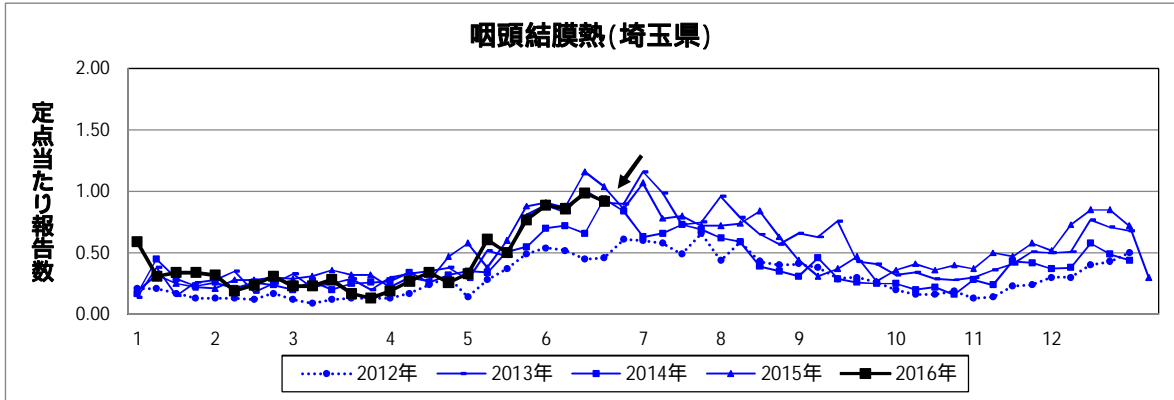


図2 流行性耳下腺炎

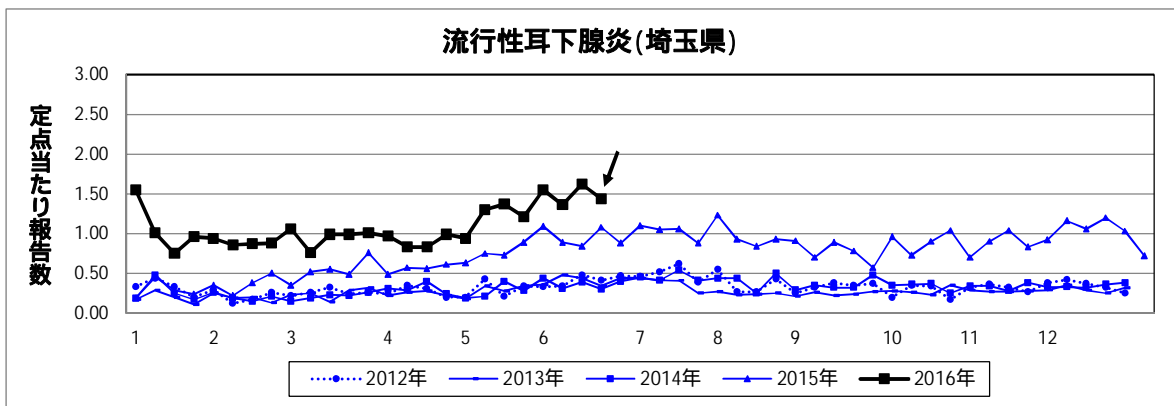


図3 ヘルパンギーナ

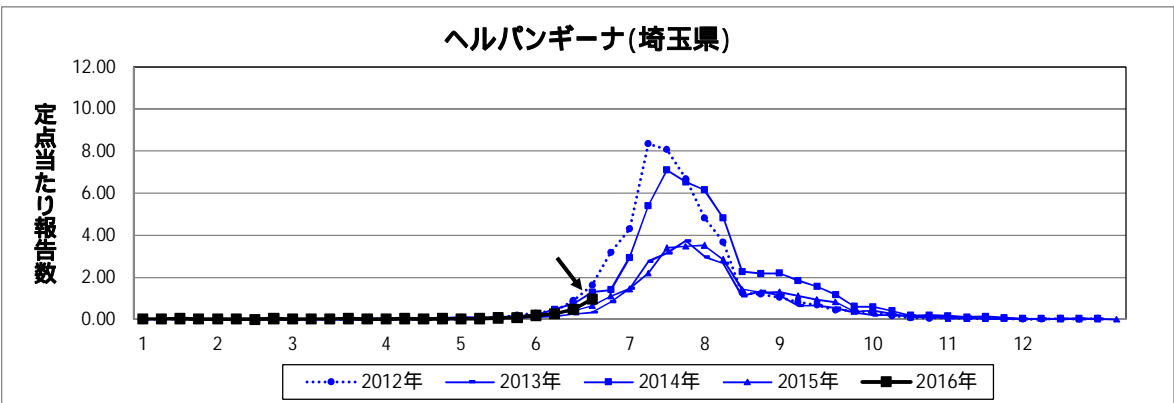
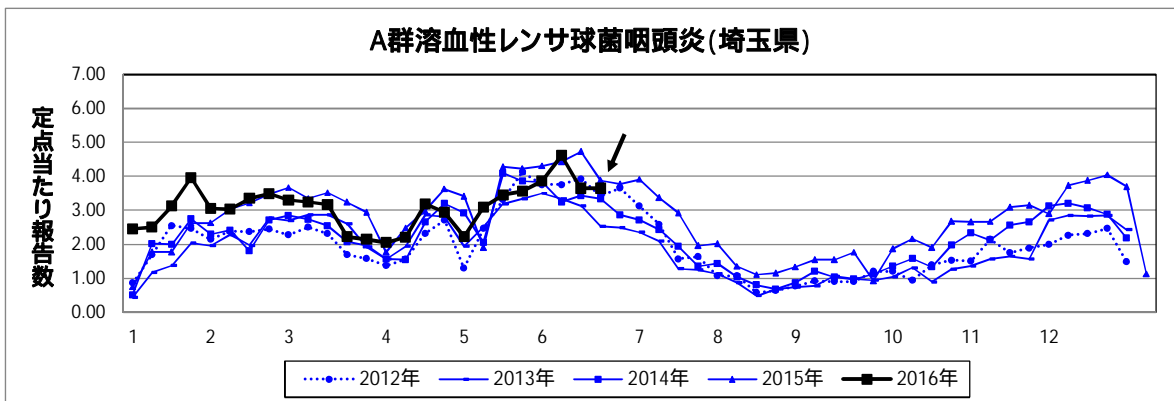


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第25週)

(2016年6月28日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	1	7	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	22			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	30
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		27	侵襲性肺炎球菌感染症	1	60
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	18	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	25	梅毒	7	68
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		2
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		平成28年6月20日～平成28年6月26日												
	報告数	定点当たり	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)
全	2	0.06	146	581	984	101	61	19	115	-	154	229	1	28	-	2	5	-	-	-	-
川	1	0.04	17	85	159	7	7	3	19	-	16	9	-	3	-	*	*	*	*	*	*
朝	-	-	15	63	107	8	5	1	12	-	14	16	-	3	-	-	-	-	-	-	-
鴻	-	-	5	69	75	8	1	-	6	-	4	14	-	-	-	*	*	*	*	*	*
東	-	-	1	14	38	6	-	-	1	-	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-
山	-	-	2	3	7	1	-	-	2	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
秩	-	-	0.67	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-
本	-	-	1	13	4	2	2	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
庄	-	-	0.25	3.25	1.00	0.50	0.50	-	0.25	-	-	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
熊	-	-	9	38	97	2	2	2	10	-	3	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-
谷	-	-	1.00	4.22	10.78	0.22	0.22	0.22	1.11	-	0.33	1.44	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
須	1	0.10	4	4	4	5	1	-	3	-	-	11	-	-	*	*	*	*	*	*	*
加	-	-	0.67	0.67	0.67	0.83	0.17	-	0.50	-	-	1.83	-	-	*	*	*	*	*	*	*
春	-	-	11	8	13	7	-	1	2	-	4	11	-	-	*	*	*	*	*	*	*
日	-	-	1.83	1.33	2.17	1.17	-	0.17	0.33	-	0.67	1.83	-	-	*	*	*	*	*	*	*
部	-	-	9	27	29	4	-	1	6	-	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	1.00	3.00	3.22	0.44	-	0.11	0.67	-	-	3.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手	-	-	5	10	54	1	1	-	7	-	6	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-
坂	-	-	0.83	1.67	9.00	0.17	0.17	-	1.17	-	1.00	2.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
戸	-	-	16	44	28	3	13	1	8	-	60	7	-	1	*	*	*	*	*	*	*
加	-	-	1.45	4.00	2.55	0.27	1.18	0.09	0.73	-	5.45	0.64	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
山	-	-	31	62	80	20	10	1	8	-	16	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-
狭	-	-	1.82	3.65	4.71	1.18	0.59	0.06	0.47	-	0.94	1.71	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
川	-	-	2	37	56	8	-	3	-	-	7	2	-	3	*	*	*	*	*	*	*
越	-	-	0.25	4.63	7.00	1.00	-	0.38	-	-	0.88	0.25	-	1.50	*	*	*	*	*	*	*
市	-	-	6	16	20	5	1	3	4	-	10	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-
越	-	-	0.75	2.00	2.50	0.63	0.13	0.38	0.50	-	1.25	1.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
谷	-	-	12	88	217	15	18	3	28	-	14	53	-	12	-	-	-	-	-	-	-
さい	-	-	0.44	3.26	8.04	0.56	0.67	0.11	1.04	-	0.52	1.96	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-
たま	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

6月 28日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第25週 平成28年6月20日～平成28年6月26日)

	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	10	4	1	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	146	1	7	35	20	20	22	13	7	9	6	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	581	-	2	19	25	57	85	82	67	64	49	39	65	2	25	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	984	12	59	127	87	110	111	93	78	42	34	47	83	20	81	-	-	-	-	-	-	-
水痘	101	-	1	4	4	8	12	17	14	20	15	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	61	1	5	18	10	9	8	4	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	19	-	-	1	-	3	5	1	3	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	115	3	35	64	7	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	154	-	12	52	27	22	21	5	8	3	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	229	-	-	4	9	21	37	31	39	26	21	13	18	4	6	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	28	-	-	1	-	2	-	1	1	1	1	-	1	-	6	1	3	3	3	3	4	4
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 23 週

(6月6日～6月12日)

平成28年6月29日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.84)、福島県(1.03)、鹿児島県(0.53)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は2例と前週と比較して減少し、2県から報告があった。

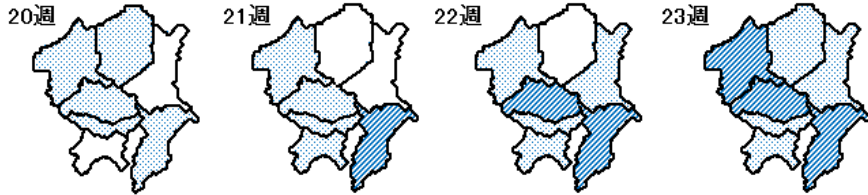
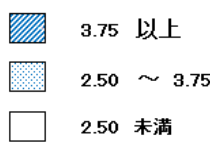
RSウイルス感染症の報告数は280例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(2.83)、佐賀県(1.91)、福島県(1.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(5.37)、北海道(5.06)、千葉県(4.90)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(12.94)、新潟県(10.03)、長野県(9.30)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(0.83)、宮崎県(0.72)、北海道(0.68)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.94)、鹿児島県(0.95)、香川県(0.75)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(1.30)、富山県(1.28)、栃木県(1.21)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.42)、山形県(2.20)、鹿児島県(1.85)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.43)、石川県(1.40)、大阪府(1.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第16週以降減少が続いている。26都道府県から78例報告があり、年齢別では0歳(11例)、1～4歳(55例)、5～9歳(9例)、10代(1例)、20代(1例)、50代(1例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(4.90)、埼玉県(4.61)、群馬県(3.78)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成28年 23週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	645	98	3	4	5	14	28	27	17
	定点当たり	0.13	0.07	0.03	0.05	0.05	0.06	0.13	0.07	0.05
RSウイルス感染症	報告数	280	56	3	-	-	8	3	27	15
	定点当たり	0.09	0.06	0.04	-	-	0.05	0.02	0.10	0.07
咽頭結膜熱	報告数	2,502	781	46	21	39	138	98	260	179
	定点当たり	0.79	0.82	0.61	0.44	0.67	0.86	0.73	1.00	0.84
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,960	3,521	209	162	219	742	661	892	636
	定点当たり	3.15	3.71	2.79	3.38	3.78	4.61	4.90	3.44	2.97
感染性胃腸炎	報告数	19,805	6,180	449	135	343	1,183	821	1,913	1,336
	定点当たり	6.27	6.51	5.99	2.81	5.91	7.35	6.08	7.39	6.24
水痘	報告数	1,409	470	37	16	17	90	80	129	101
	定点当たり	0.45	0.49	0.49	0.33	0.29	0.56	0.59	0.50	0.47
手足口病	報告数	810	203	9	5	2	41	36	79	31
	定点当たり	0.26	0.21	0.12	0.10	0.03	0.25	0.27	0.31	0.14
伝染性紅斑	報告数	1,416	312	24	58	53	35	48	64	30
	定点当たり	0.45	0.33	0.32	1.21	0.91	0.22	0.36	0.25	0.14
突発性発しん	報告数	1,811	647	29	34	31	120	101	209	123
	定点当たり	0.57	0.68	0.39	0.71	0.53	0.75	0.75	0.81	0.57
百日咳	報告数	104	17	2	1	1	5	2	6	-
	定点当たり	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02	-
ヘルパンギーナ	報告数	1,676	235	8	3	12	43	10	103	56
	定点当たり	0.53	0.25	0.11	0.06	0.21	0.27	0.07	0.40	0.26
流行性耳下腺炎	報告数	2,978	842	67	29	18	219	141	174	194
	定点当たり	0.94	0.89	0.89	0.60	0.31	1.36	1.04	0.67	0.91
急性出血性結膜炎	報告数	6	4	-	-	-	1	-	-	3
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.02	-	-	0.06
流行性角結膜炎	報告数	465	210	26	11	10	25	21	24	93
	定点当たり	0.67	1.01	1.53	0.92	0.71	0.61	0.60	0.62	1.86
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	2	1	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.02	0.08	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	31	7	-	1	-	2	2	1	1
	定点当たり	0.07	0.09	-	0.14	-	0.20	0.22	0.04	0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数	276	34	3	2	8	8	3	8	2
	定点当たり	0.58	0.42	0.23	0.29	1.00	0.80	0.33	0.32	0.22
クラミジア肺炎 #3	報告数	8	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	78	19	6	3	3	3	1	2	1
	定点当たり	0.17	0.23	0.46	0.43	0.38	0.30	0.11	0.08	0.11

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

小児科疾患の病原体サーベイランスについて

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の検出状況

平成 28 年 4 月 1 日から新たに施行された埼玉県病原体サーベイランス実施要領では、病原体サーベイランスの重要度が高いRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナの 5 疾患を対象に、検体提出機関である小児科病原体定点が毎月 4 検体を目安に採取することになりました（定常調査）。今回は、患者サーベイランスで報告患者数が多い咽頭結膜熱、感染性胃腸炎について、検体の搬入状況及び検査結果（埼玉県衛生研究所実施）を報告します。

4 月 1 日から 6 月 9 日までに県 13 保健所管内の小児科病原体定点 28 カ所のうち 7 保健所管内の 9 カ所で咽頭結膜熱 29 検体、感染性胃腸炎 30 検体の計 59 検体が採取されました（表 1）。咽頭結膜熱検体から検出されたアデノウイルスは 2 型 6 件、5 型 3 件、3 型 1 件でした（表 2-1）。感染性胃腸炎検体からの検出は A 群ロタウイルスの 9 件が最も多く、次いでノロウイルスの 6 件（G Ⅰ:4 件、G Ⅱ:2 件）、サポウイルス 4 件、アストロウイルス 1 件の順でした（表 2-2）。

表1 小児科病原体定点から搬入された検体数*

保健所	小児科 病原体定点	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎
川口	A	1	14
川口	B	12	1
鴻巣	C	1	-
秩父	D	1	-
熊谷	E	1	-
加須	F	1	4
草加	G	5	7
草加	H	6	4
狭山	I	1	-
総計		29	30

*: 4月1日～6月9日に採取されたもの (0: -)

表2-1 咽頭結膜熱のウイルス検出状況

分離ウイルス	検体数
アデノウイルス2型	6
アデノウイルス3型	1
アデノウイルス5型	2
アデノウイルス5型、インフルエンザウイルスC型	1
ウイルス不検出	9
検査中	10
総計	29

表2-2 感染性胃腸炎のウイルス検出状況

分離ウイルス	検体数
A群ロタウイルス	8
A群ロタウイルス、アデノウイルス2型	1
ノロウイルス(G Ⅰ)	2
ノロウイルス(G Ⅱ)	3
ノロウイルス(G Ⅰ)、サポウイルス	1
サポウイルス	2
サポウイルス、アデノウイルス3型	1
アストロウイルス	1
ウイルス不検出	6
検査中	5
総計	30

新たに始まった病原体サーベイランスは、収集した病原体情報を分析することで、適切な感染症対策を図ることを目的としています。患者サーベイランスによると手足口病とヘルパンギーナは流行期に入りつつありますので、病原体定点医療機関の先生方には、手足口病とヘルパンギーナの検体採取にも御協力をお願いします。

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第25週

感染症発生動向調査 2016年

- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)

感染症の流行状況 2016年 第25週

2016年第25週（平成28年6月20日～6月26日）の要点 平成28年6月29日

[咽頭結膜熱（プール熱）](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まりましたが、多い状況にあります。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	伝染性紅斑	↓	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	→	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
感染性胃腸炎	↓	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)をご覧ください。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コパトン